

《履修上の留意事項》本演習の受講者数は20名である。受講者数が20名を越える場合はGPAにより決定する。

《担当者名》 黒澤隆夫 幸村 近 吉田 繁 田中真樹 高橋祐輔 高橋祐司 志水 幸（看） 山田律子（看）
向谷地生良（看） 大原裕介（客） 石井勝義（非）

【概要】

臨床検査の現場では認知症を持つ高齢者、精神的障害、発達障害をもつ患者に接する機会が多い。チーム医療や在宅医療を進める上で臨床検査技師は検査技術だけではなく、医療人として様々な患者の精神的、身体的状態を理解するなど福祉に対する基本的な理解が必要である。本授業では保健・医療・福祉とは何かを学習した上で、高齢者（認知症を含む）、発達障害（自閉症など）、精神障害について講義や疑似体験、福祉施設での見学・体験を通して福祉の現状、患者の病態や気持ち、接し方を理解する。それによって、検査現場のみならず福祉分野において臨床検査技師として貢献できることをグループディスカッションにより考えることを目的とする。

【学修目標】

- 1) 保健・医療・福祉を理解するために、その基礎知識と介護現場見学・体験を通じた接し方を身につける。
- 2) 医療や福祉の歴史や理念を理解し、その必要性を説明できる。
- 3) 精神障害や発達障害、認知症の病態を理解し、それら患者の気持ちや接し方について説明できる。
- 4) 臨床検査技師がチーム医療をおこなう上で、福祉を理解する必要性を説明できる。
- 5) 福祉分野における臨床検査技師の役割と活躍の可能性について討論し説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	・保健医療福祉演習全般についてのガイダンス ・北海道医療大学および地域における保健医療福祉の取組 キーワード：地域、北海道医療大学	黒澤隆夫
2	保健医療福祉総論	・保健・医療・福祉	志水 幸
3	認知症	・認知症をもつ高齢者の気持ちや接し方（映像等も活用）	山田律子
4	精神障害	・精神障害 キーワード：精神障害	向谷地生良
5 ） 6	発達障害の理解と模擬体験	・発達障害 ・当事者（発達障害や自閉症など）のお話し ・自閉症の模擬体験 キーワード：発達障害、自閉症、コミュニケーション	大原裕介
7	介護福祉士の仕事	・介護福祉士から介護現場の実際 キーワード：介護、介護福祉士、コミュニケーション	石井勝義
8 ） 9	グループワーク 施設見学・体験ガイダンス	・施設見学・体験にあたっての注意事項 ・施設見学・体験での企画作成	石井勝義 幸村 近 吉田 繁 田中真樹 高橋祐輔 高橋祐司
10 ） 13	施設見学・体験	・老人介護福祉施設の見学・体験	石井勝義 吉田 繁 田中真樹 高橋祐輔 高橋祐司
14 ）	グループワーク	・講義や施設見学・体験を通して学んだことを臨床検査の現場やチーム医療にいか還元できるか、また、臨床検査技師が福祉分野でいかに貢献できるかについて	黒澤隆夫 幸村 近 吉田 繁

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15		てグループ内で話し合い、プレゼンテーションをおこなう。	田中真樹 高橋祐輔 高橋祐司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート 100%

【教科書】

使用しない。

【参考書】

星 和夫 著「臨床検査学講座 保健医療福祉概論 第2版」医歯薬出版 2017年

【備考】

グループワーク、プレゼンテーションを行う。

【学修の準備】

予習は、次回の授業範囲について調べ、理解しておくこと。（80分）

復習は、プリントを活用し学習を深めること。（80分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

（DP3）保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

【実務経験】

黒澤隆夫（薬剤師）、幸村 近（医師）、吉田 繁（臨床検査技師）、田中真樹（歯科医師）、高橋祐輔（臨床検査技師）、高橋祐司（臨床検査技師）、山田律子（看護師）、向谷地生良（精神保健福祉士）、大原裕介（社会福祉士）、石井勝義（介護福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関、社会福祉法人、介護福祉法人での実務経験を活かし、保健・医療・福祉等の分野の基礎知識や社会福祉と介護福祉の実際について講義、見学・体験を実施する。